

水稻情報

(第1号)

平成30年3月28日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

~~ 目指せ！あおば米1等米比率90%以上！！ ~~

- ・コシヒカリの田植えは5月15日を中心に、育苗日数は20日間を目安にして計画的に播種しましょう。
- ・硬化期の換気を徹底し、健苗育成に努めましょう。

コシヒカリの8月6日頃出穂を目指したスケジュール（平坦地）

浸種	播種	田植日	出穂期
4/8	4/18	5/10	8/3 頃
4/16	4/25	5/15	8/6 頃
4/22	4/30	5/20	8/9 頃

初期生育を良くし、目標穂数 400 本/m²を確保！

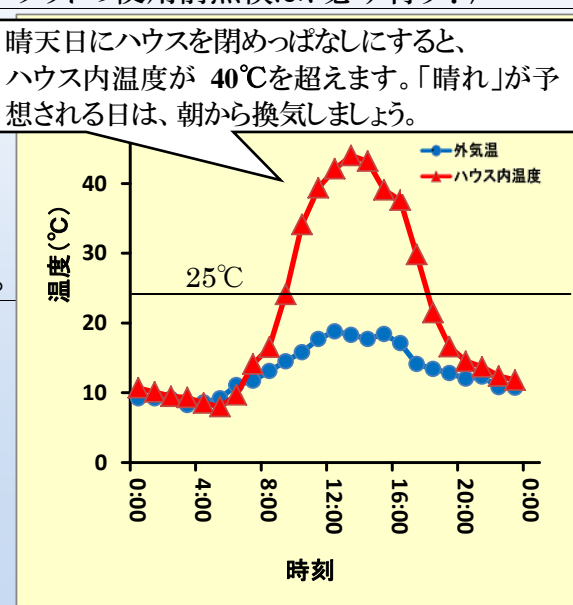
育苗日数は20日間が基本！
若い苗は、初期分けつが発生しやすい！



☆☆☆育苗のスケジュールと作業内容☆☆☆

田植予定日 5/10 : 5/15	作業	温度管理	作業管理のポイント																					
	器材消毒		苗箱の消毒は、イチバンで！（苗箱はしっかりと乾かしてから使用。）																					
4/7 : 4/15	① 比重選 ② 種子消毒	水温は 10~20℃ を確保	<p>① 比重選により、充実した種籾を準備する！ *発芽障害を防ぐため、選別後硫酸を水で洗い流す。</p> <p>② 種子消毒の徹底！ 【薬液の作り方】薬液は1回ごとに新しく作り換えて浸漬する！</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>比 重</th> <th>水に溶かす硫酸の量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>うるち</td> <td>1.13</td> <td>2.5kg</td> </tr> <tr> <td>もち</td> <td>1.08</td> <td>1.5kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>【比重液の作り方】水 10ℓ に硫酸を溶かす。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬 剤 名</th> <th>希 釈 倍 率</th> <th>浸 漬 時 間</th> <th>種 籾 量</th> <th>水 量</th> <th>薬 剤 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モミガードC水和剤</td> <td>200 倍</td> <td>24 時間</td> <td>10kg</td> <td>20ℓ</td> <td>100g</td> </tr> </tbody> </table> <p>同じ薬液を、繰り返し使わない。</p> <p>廃液は用水、河川に流出しないよう気をつける。</p>	品 種	比 重	水に溶かす硫酸の量	うるち	1.13	2.5kg	もち	1.08	1.5kg	薬 剤 名	希 釈 倍 率	浸 漬 時 間	種 籾 量	水 量	薬 剤 量	モミガードC水和剤	200 倍	24 時間	10kg	20ℓ	100g
品 種	比 重	水に溶かす硫酸の量																						
うるち	1.13	2.5kg																						
もち	1.08	1.5kg																						
薬 剤 名	希 釈 倍 率	浸 漬 時 間	種 籾 量	水 量	薬 剤 量																			
モミガードC水和剤	200 倍	24 時間	10kg	20ℓ	100g																			
4/8 : 4/16	③ 浸種	浸種期間の目安 10℃→10日間 15℃→7日間	<p>③ 浸種は、4月8日以降から始める（基本）！ ・水温×日数=積算温度 100℃を確保する。 ・水は浸種後2~3日目に交換、次からは1~2日おきに交換する。 ・発芽揃いを良くするため、浸種開始日は水温 12~13℃とする。</p> <p>浸種中の水温は 10~15℃を維持する！</p>																					
4/17 : 4/24	④ 催芽	育苗器内温度 28~30℃ 20~24時間	<p>④ 芽の長さをこまめにチェック！ ・芽揃いを良くするため1日2~3回、袋を反転させる。</p> <p>目安：ハト胸~2mmまで</p>																					
4/18 : 4/25	⑤ 播 種 ⑥ 出芽	育苗器内温度 30℃・2~3日	<p>⑤ 播種量は催芽籾で箱当たり 150g（乾籾 120g） ・均一に播種するため、籾の水切り(脱水)は十分に行う。 (籾が手に付かない程度にまで陰干しを行う。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>乾籾 120g 播き</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>乾籾 140g 播き</p> </div> </div> <p>【カビ類の発生防止】 (播種時のかん水を兼ねる。) ダコレート水和剤 500 倍液を 1 箱当たり 500ml 灌注。</p> <p>・覆土は苗箱の上面よりやや少なめに！（均一なかん水ができるように！）</p> <p>⑥ 育苗器の温度をこまめにチェック！（サーモスタットの使用前点検は、必ず行う！）</p>																					
4/21 : 4/28	⑦ 搬出 緑化	ハウス内温度 昼:25℃以下 夜:10℃以上	<p>⑦ 芽の長さが 1cm に揃ったら搬出！ ・搬出後は、覆土を落ち着かせ、緑化中に水不足にならない程度にかん水。 ・緑化期間中でも、ハウスの温度が 25℃を超えないよう換気を行う。 ・第1葉が展開したら速やかに被覆資材を外す。</p> <p>晴天日にハウスを閉めっぱなしにすると、ハウス内温度が 40℃を超えます。「晴れ」が予想される日は、朝から換気しましょう。</p>																					
4/24 : 4/30	⑧ 硬化	ハウス内温度 昼:25℃以下 夜:10℃以上	<p>⑧ 田植えの 7~10 日前からは、昼夜ともに換気し、十分外気に慣らす！ ・かん水は朝にたっぷりを行い、日中は床土の乾きに応じて行う。 ・かん水過多は根張りが悪くなるので、水持ちの良い床土はやり過ぎにも注意。</p>																					
5/10 : 5/15	田 植		【ムレ苗が発生したら】 タチガレエース M 液剤 500 倍液を 1 箱当たり 500ml 灌注																					

25℃を超えないよう、こまめに換気



GAP チェックシート・栽培履歴の提出に備えて「栽培こよみ」に作業を記入してください。

春の土づくり

☆☆☆1 等米比率の向上は適切な土づくりが基本☆☆☆

1 土壤改良資材の施用

～ 土壤改良資材や堆肥を秋に施用できなかった場合、必ず春施用しましょう！！ ～

- ケイ酸は高温条件下で登熟を向上させ、整粒歩合が高くなります(図1)。
- 成熟期の茎葉ケイ酸濃度が高いと、割粃が少なくなり、カメムシ斑点米の被害も抑制します(図2)。
- ・ケイ酸質資材を散布していない方は、30年産に向けて、積極的な散布をお願いします！

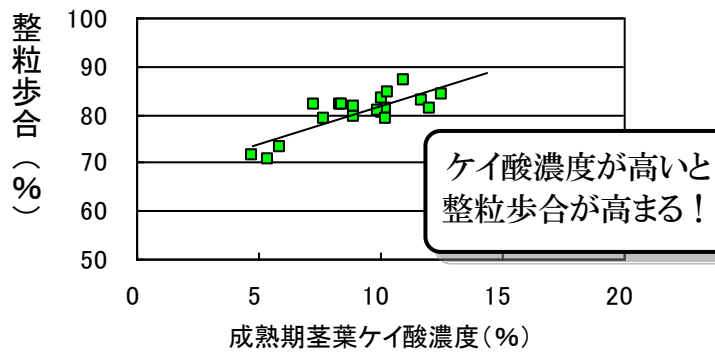


図1 成熟期の茎葉のケイ酸濃度と整粒歩合の関係

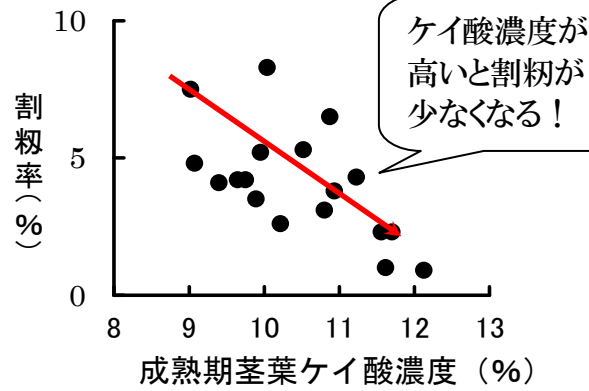


図2 稲体のケイ酸濃度と割粃の関係

カメムシは割粃の隙間から玄米を吸います！



◎ケイ酸+アルカリ資材の継続施用

アルカリ成分を含む資材は、継続施用で pH 矯正に役立ちます。

※JA あおばでは、ケイ酸質資材等の購入代金に対して2%の助成を行っています。

【ケイ酸+アルカリ質資材の標準施用量】(kg/10a)

資材名	施用量
あおばフミンエース	100
あおばスーパーケイサンプラス	90
米取けいさん鉄	100
シリカロマン	100

2 有機物の施用

～ 有機物の施用であおば米の食味向上！！ ～

○堆肥や発酵鶏糞などの有機物を積極的に施用し、地力の向上に努めましょう。

※JA あおばから堆肥散布に対する助成もあります。翌年1月までに申請が必要です。詳細については、各地区営農経済センターまでお問い合わせください。

【堆肥施用量の目安】春施用:10a当たり

牛糞堆肥	1トン
豚糞堆肥	0.5～1トン
発酵鶏糞	75kg(還元田:150kg)

注:コシヒカリでは、基肥を窒素成分で1kg減肥

3 深耕による作土層の拡大

作土深 15cm 以上を確保するためトラクターの速度を落とし、現状+3cmの深耕を心掛けましょう。

カメムシ対策 第1回

～ 春から始まる雑草対策 ～

- ・カメムシが好むイネ科雑草を春のうちに少なくすることで、虫の密度を抑えることができます。
- ・除草剤が使用できる場合は、4月中下旬頃を目途に畦畔等にバスタ液剤、ザクサ液剤等の茎葉処理除草剤を散布して雑草を減らすようにしましょう。(遅くとも田植えの始まる前までに！)
- ・除草剤散布ができない場合は、幼虫の餌となるイネ科雑草が穂をつけないよう、こまめに草刈りを行いましょう。

僕たちは、春に卵からかえって、イネ科雑草で繁殖するよ。



除草方法	越冬世代に対する密度低減効果		除草により期待される効果等
	幼虫	成虫	
除草剤散布 (バスタ、ザクサ等)	○	○	・カメムシ類の密度低減効果が高い。 ・幼虫の餌となるイネ科雑草がなく、生存できなくなる。 ・寄主植物がないため、成虫の飛来や産卵がみられなくなる。
草刈り (穂が出ないように)	△	○	・除草剤散布ができない場合の対応 ・幼虫はイネ科雑草の葉だけでも発育できるが、穂がないため、幼虫の発育遅延や羽化率が低下する。 ・穂がないため、成虫の飛来や産卵が抑えられる。

注) ○:効果が高い、△一定の効果がある

【水稻育苗ハウスで野菜等の栽培を行われる方へ】

○水稻育苗ハウスで野菜等の栽培を行う場合、苗箱施薬剤は育苗ハウスから搬出した後に散布しましょう！

春の農作業安全運動展開中！「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」

水稻情報 第2号の発行日は、4月25日(予定)です。